

信濃町では、子どもをはじめとするすべての人が、「木とふれあい、木に学び、木と生きる」取り組みとして、ウッドスタート事業を行っております。

令和3年度 森林づくり推進支援金事業総括書

No.	事業項目	事業名
	木を活かした力強い産業づくり	ウッドスタート事業
事業費 646,030円 (うち支援金: 646,000円)		

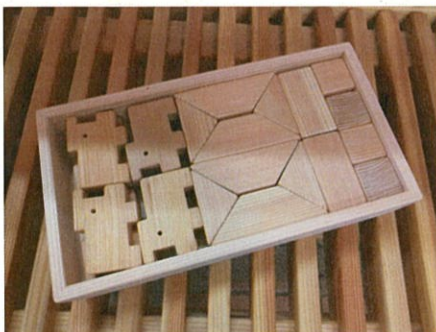
事業目的

黒姫山をはじめ北信五岳に囲まれた信濃町は、その面積の74%を森林が占め、森林は遥か昔から信濃町にきれいな水、澄んだ空気を恵んでくれています。人はそんな森林に護られ、また森林を守りその生を繋げてきました。

そのような森林の木材で作られた玩具を使って遊び、子供の頃から木のぬくもりを感じることによって、森林や自然を大切にする心を育み、人も自然の一員であることを実感できる「木育(もくいく)」を親子で始める取り組みを進める。

事業内容

- (1) 実施場所 : 信濃町一円
- (2) 対象者 : 信濃町内で生まれた新生児へ贈呈
- (3) 実施方法 : 町内産の木材を利用した玩具を作製し、親子に贈呈する。
- (4) 事業目標及び当年度事業量
 - ① 全体計画(令和2年度~令和4年度) 約100個作製
 - ② 令和3年度 45個作製



事業効果

(1) 事業実施による効果

木材を利用することで森林の手入れや再造林も進み、木材は、持続可能で環境にやさしい資源であり、暮らしの中に木を取り入れることは、環境を守るために大きな役割を担うこととなります。

(2) 継続性

子供の頃から木材に親しみ親子で森林の大切さを継続的に育んでいくことが期待できる。

(3) 普及性

町内の新生児と親に対し、このような取組みをすることによって、地域住民の身近なところでの木材利用となるため、PR効果は高い。

事業の検証及び評価

(1) 目標に対する成果の状況

令和3年度事業として、町内産の木材を利用した玩具を45個作製し、親子に贈呈することができました。

(2) 課題

すべて手作りと言うこともあり、作成には相当な時間と労力を要します。仕上げに関連したやすり掛け等については、町内の介護施設等高齢者に作業をお願いしている部分もあります。今後についても、思いのこもった玩具の製作ですので、より町内多くの方々の力を借りて事業を継続したい。

(3) 今後の取組方向

事業を現行どおり継続する。

事業を継続する

事業を継続しない